



三田メディアセンターニュース

慶應義塾図書館 URL <http://www.mita.lib.keio.ac.jp/>

館内利用案内(テープ) 電話 (03) 5427-1529


 10
2002

開館時間	月～金曜日	土曜日	日曜日・祝日
図書館	8:45～21:00	8:45～19:00	休館
図書館旧館	8:45～20:50	8:45～18:50	休館

日	月	火	水	木	金	土
9/29	30	10/1	2	3 長期貸出返却 期限日(1回目)	4	5
6 休館	7 長期貸出返却 期限日(2回目)	8	9	10	11	12
13 休館	14 体育の日	15	16	17	18	19
20 休館	21	22	23	24	25	26
27 休館	28	29	30	31	11/1	2

図書館を利用するにあたっての注意事項

- 1 図書を館外に帯出するときは、必ずカウンターで所定の手続きを済ませてください。
- 2 資料を大切に扱い、切り取り、書き込み、汚損等の行為をしないでください。
- 3 借り出した図書を他人に「又貸し」しないでください。
- 4 館内では静粛を守り、他の利用者の迷惑となる行為は慎んでください。
- 5 館内では飲食および喫煙とも禁止です。
- 6 携帯電話の使用は他の利用者の迷惑となります。館内では電源を切ってください。
- 7 ワープロ、パソコン、電卓等は定められた場所で利用してください。
- 8 所持品は各自の責任において管理してください。

今月のお知らせ

夏季長期貸出の返却期限日について

三田と白楽の長期貸出図書の返却期限日は、7月26日までの貸出分が**10月3日（木）**、7月27日以降の貸出分が**10月7日（月）**です。返却期限に遅れると1冊につき1日10円の延滞料金が徴収されます。遅れないように注意してください。

なお、長期貸出図書の貸出更新はできません。

カラーコピー機の利用時間延長について

図書館1階複写カウンター前のカラーコピー機が新しくなりました。これに伴い、塾内関係者はコイン式のセルフサービスによる利用（1枚70円）ができるようになり、利用時間も閉館10分前まで延長されました。

なお、塾外者は従来どおり複写カウンターに申し込んでご利用ください。

図書の「又貸し」禁止について

図書館における図書の貸出サービスは、その借用者に対して行われます。借りた本を他の人に貸すという、いわゆる「又貸し」を決してしないでください。その結果は、すべて借用者の責任となります。最近、グループワーク等で利用する借出図書について、「又貸し」による未返却問題が発生しています。グループワーク等においても、借用者がすべての責任を負うことになりますので、このことを十分に認識して利用してください。

「江戸のパロディ文学」展の開催について

期間：10月7日（月）～19日（土）

場所：図書館1階レファレンスルーム内

内容：江戸時代に流行した俗文学におけるパロディとその基になった古典の紹介

データベース関連のお知らせ

- ・LEXIS-NEXIS社提供のデータベース名称の変更について

下記のデータベースの名称が変更になりました。同時に接続画面のインターフェースも変更されましたので、利用の際はご注意ください。

(旧名称)		(新名称)
「Academic Universe」	→	「LexisNexis Academic」
「Congressional Universe」	→	「LexisNexis Congressional」
「Statistical Universe」	→	「LexisNexis Statistical」

上記データベースは、下記URLまたは図書館ホームページの「データベース」ページからアクセスできます。

「LexisNexis Academic」	http://web.lexis-nexis.com/universe
「LexisNexis Congressional」	http://web.lexis-nexis.com/congcomp
「LexisNexis Statistical」	http://web.lexis-nexis.com/statuniv

読書のすゝめ Vol. 1

高橋是清『高橋是清自伝』千倉書房 1936年
(46H@49@1)



高橋是清 1854-1936

— ‘スーパーマン’の自伝を読むときには —

商学部教授・玉置紀夫

幕府絵師の子に生まれ、仙台藩足輕の家に養子に出された高橋是清は、維新動乱期に出世した典型的な人物である。横浜正金銀行（現東京三菱銀行）頭取、日銀総裁を歴任したあと、蔵相8回、首相2回を務めた高橋は、近代日本の押しも推されもしない財政第一人者である。この彼の現存する最古の手紙は、1867年12月3日（慶応3年11月8日）付の、養父母に宛てたものである。福澤諭吉がアメリカから帰国のため乗船してきたコロラド号で渡米した高橋は、この手紙をサンフランシスコから書いていう。

『御祖母より壱本お父様より書状壱本右式通西洋十一月十九日に相届申候…船中にてても時々くじらなど見六之助事船中にては式三日之中ふなよる申候得共格別之事も無之拙者事一日前気分をかし有之候』

しかるに2・26事件のわずか17日まえの1936年（昭和11年）2月9日に出版された自伝では、彼は次のようにいう。

『下等に乗っている日本人船客は、我々四人だけと思い込んでいたらまだぞくぞくと日本人がいる。皆船によっている…』（36頁）

このように本文中では、高橋は自分自身のことについては触れていない。それでは、彼が船酔いを忘れてしまったのかということ、そうではないようだ。この本文に続けて、上記の書簡が引用されているからだ。しかし引用された書簡からは、『拙者事一日前気分をかしく』の部分は削られている（同書41頁）。どちらかというと言の露悪趣味の傾きすらある高橋にしてそうだと、どんな些細なことでも体裁の悪いことは、書きたくないものだ。

高橋是清に限らず、‘スーパーマン’の自伝を読むときには、著者の言を鵜呑みにしてはいけない。

注）写真は、大正10（1921）年春 原内閣の蔵相時代

貴重書紹介

セント・サバスのアンティオコス『道徳集と祈禱文』ギリシャ語写本、14世紀前半？

(Antiochus of St.Sabas. Kephaleia diaphora kai Prostuche Exomologeses)



著者のアンティオコスはアンキラ（現アンカラ）近くのメドサガに生まれ、ヘラクレイオス帝の治世（AD610-641）をエルサレムの聖サバス修道院の修道僧として過ごし、130篇からなる説教集ほかの著作を残した。

本写本の内容は聖書や教父の教えを援用しながら、アンティオコスが人間の道徳的な責任について語った説教集であり、130篇からなる全体のうち、後半の第66篇「真実について」から第130篇「天上の天国について」までを含んでいる。614年のササン朝ペルシャによるエルサレム攻略とそれに続く略奪と殺戮について目撃したことについての記述もみられる。

アンティオコスはごく一部の専門家の間にしか知られていない人物であるが、彼の説教集は聖サバス修道院の歴史およびヘラクレイオス朝下における単性論をめぐる論争についての貴重な資料であるばかりでなく、ペルシャ人によるエルサレム攻略の史料とも関わりを持つ。

ギリシャ語テキストは各葉両面、29行ずつ二つのコラムに罫線に沿って規則正しく筆写されており、1葉表冒頭には金、青および赤の彩色が施された装飾が、また、朱文字で書かれた各表題の殆どには植物ないし動物の線描装飾が加えられている。縦305mm、横245mmの羊皮112葉よりなる冊子本である。ギリシャ語の書体から12世紀～14世紀のものと思われる。（遠藤）

今月の雑誌の動き

新 規

- Documenti e Studi Sulla Tradizione Filosofica Medievale.
(Società Internazionale per lo Studio del Medioevo Latino)
1 (1) (1990)―
- Japanese Journal of Political Science. (Cambridge University Press)
3 (1) (2002)―
- Journal of Internet Law. (Aspen Law & Business) 6 (1) (2002)―
- Mamluk Studies Review. (University of Chicago) 1 (1997)―
- Nordic Journal of International Law.
(Det Danske Center for Menneskerettigheder) 70 (2001)―
- Self and Identity. (International Society for Self and Identity)
1 (1) (2002)―
- 大航海：思想・文学・歴史（新書館）43 (2002)―
- フォーラム現代社会学（関西社会学会）1 (2002)―
- 一橋法学（『一橋法学』刊行委員会）1 (1) (2002)―
- 法学セミナー・増刊, Causa（日本評論社）1 (2002)―
- 法制史研究（中国法制史学会）1 (2000)―
- IT企業年鑑（日本経済新聞社）2002 (2002)―
- Keio SFC Journal.（慶応義塾大学湘南藤沢学会）1 (1) (2002)―
- 日本経済思想史研究（日本経済思想史研究会）1 (2001)―
- 日本音楽療法学会誌（日本音楽療法学会）1 (1) (2001)―
- ロシア・東欧学会年報（ロシア・東欧学会年報編集委員会）22 (1993)―
- 有力企業の社会貢献度（朝日新聞文化財団「企業の社会貢献度調査」委員会）2002 (2002)―

誌 名 変 更

- Comparative Sociology. (Brill) 1 (1) (2002)―
前誌名：International Journal of Comparative Sociology.
- NUCB Journal of Economics and Information Science. (Nagoya University of Commerce and Business Administration) 46 (1) (2001)―
前誌名：The NUCB Journal of Economics and Management.
- 図説森林・林業白書（林野庁）13 (2001)―
前誌名：図説林業白書
- 図説水産白書（農林統計協会）13 (2001)―
前誌名：図説漁業白書

廃刊・休刊

- 富士タイムズ（富士総合研究所経済調査部）―2002 (3) (2002)
- ハートの経済情報（第一勧業銀行）―198 (2002)
- 大陸雑誌（大陸雑誌編輯委員会）―104 (6) (2002)
- 台湾青年（台湾独立聯盟）―500 (2002)
- 東京国税局統計書（東京国税局）―11 (1999)（平成12年度より、東京国税局ホームページに掲載）

中 止

- International Spectator. (Daily American Publishing Group) ―36 (2001)
- Serials in the British Library. (British Library Bibliographic Service Division) ―2001 (2001)
- 世界の動き（外務省情報文化局）―645 (2001)

注）配置場所・保存期間等はタイトルによって異なります。詳細はOPACをご覧ください。カウンターにお尋ねください。

編集発行人 細野公男
発 行 所 慶応義塾大学三田メディアセンター
〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45
TEL：03-5427-1654 FAX：03-5484-7780
発 行 日 平成14年10月1日
印 刷 所 有限会社 梅沢印刷所